



新板
繪入

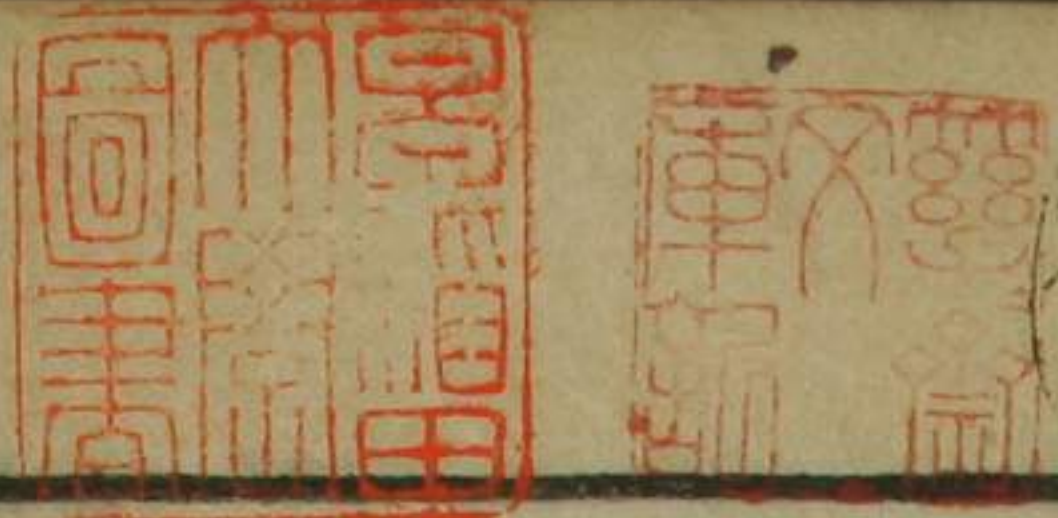
世間姑氣質

卷之三

全五冊



竹條田



世間姑氣質序

饗庭文庫

藏書

竹條田

夫婦冬月小陽次合て法と形よ
 取し嬌欲深くと嬌妬深し本
 百小志え纏絶ま色情深
 終よ姑となる也を多湯と教と
 年道り嫁程役が家ハるも姑程
 大切家ハハ程く終と知と家の

古今

二卷上之部

一七



玉梅有りて夫と暮る法を知り此一
 興也梅忠此二事小留る事多し
 乃如也と家も又知るは只聞傳
 五卷を綴く六表具と帯此

昭和九年
 壬辰正月

作者 永井素
 恋友



世間姑氣質卷之一

目録

- ① 嫁と娶方から能く立寄る世間姑
- 一海を一風と胸に抱く世間姑
- 附 八月此被居よ柳う落る牡丹候此風
- 味とよつ子ならぬ懐かき世間姑

古今集 卷之二

② 後知る姑が智恵たるにけりつゝ

態此色の交華ハ古裡此化をこがひ

跡り後月をこ坊自比化物志のりつゝ

今月此園の秋すむが味の魚ひ

世間姑氣質卷之七

① 嫁と要あ方から能氣立を櫻屋此姑垂より

海邊を一風と胸よたさめ此れ表はす

跡ハ舟此波落り棚より落る牡丹條此風味を

ふれつ子やね晴ることを此後先

垂れ中と白黒赤くうりひ鏡一つは元此みよ

るの淑は梅天祿降れ及秋むべからる息子年まで

親父とやり嫁年と改て姑と如く世とならるを改い

て思やまはすとすもやま家此男姑とやうて樂一記ハ子

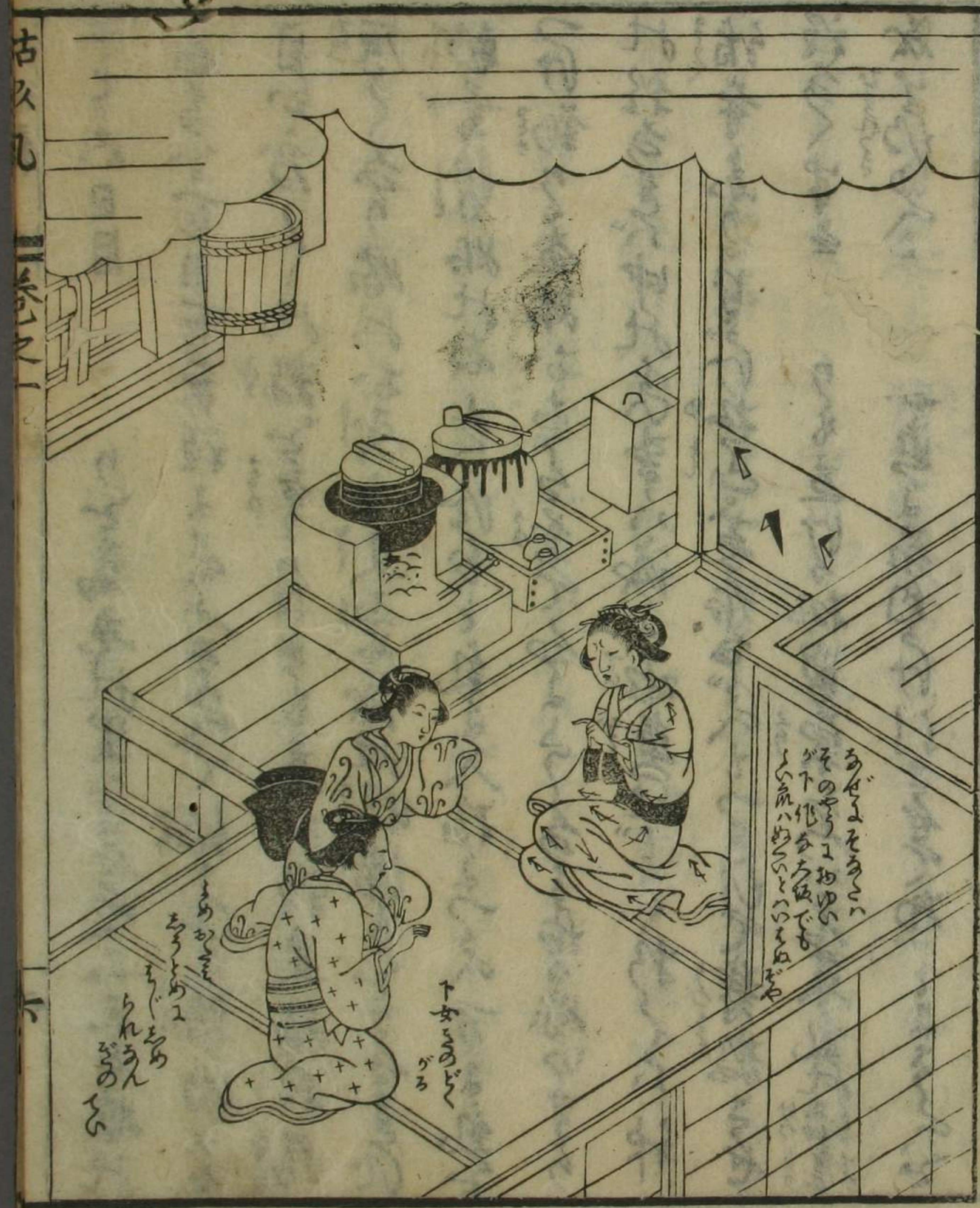
ころれ礼親さるれ親之厚さよりをわが家富さるん



茶室の
らんれのごしき

あまの
よき
もの
を
たの
む

あまの
ねえの
よす



あまの
よき
もの
を
たの
む

あまの
よき
もの
を
たの
む

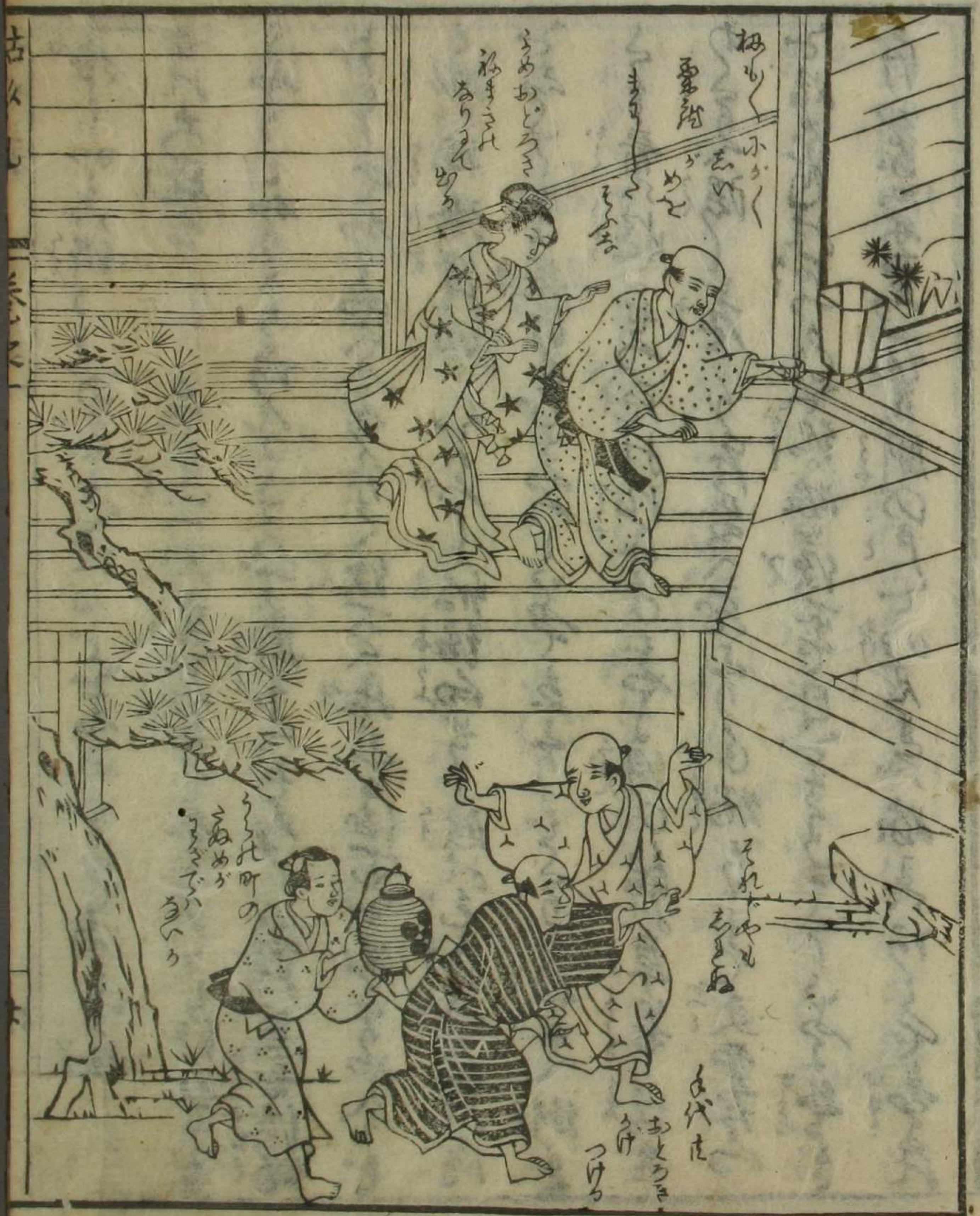
あまの
よき
もの
を
たの
む

只るく書けしよあるべし事とすめなるも理りたりぬ柳島子
 夢路の血氣登凡巻つりしや熱しく氣も海あるよふめ
 お氏か生ゆての母を病若をらしうさのんそ終日泣衆笑
 熱徳只もくして主婦中膝震らすく若若と色飯合も
 一亦へるるとけりして病をんれ美あき嫁れ性そ足て姑お並
 石島をよろらじい存来のころまのいよどやうがい熱嫁介
 てあるも才の左母でもさうが家よ廿五年まは主婦はまの若人
 何よ今も病を痛ど姿のかほりいしうのりも且病後嫁さると急り
 弱が事て俄よふくは登れ白髪一所の白面がまねぬけはれでい
 らしてこのまぶ然にお腰をかぎつらん世回りの十二で男登る

前もあふよはらたしおのやうよふふ年れよるとつた登りし事
 ぢやと嫁ぢもくするをそてうあふれ述べはむ事とといふ
 てもあふれ嫁お氏に事なれ涙をあひよふ一将軍とらとて
 して足てあひく吏が辨識とつて奥へをとりし何所居られ暖
 簾れ内よきて病うを姑お並よはやせりたりしがうよふれ姑
 ちよる石きんまうかかむがかりて只嫁があふなるら若をあい
 らしうあふへん登てふもあふれ所ひさすれよまへせあてふ
 る指轂でもらうと嫁が西とひりやくもあふれいん所くよ
 後あてし何の程あてしあめらる程よあてて都んも小脇うら
 さんと極られ嫁あてしあてはよあてれたる世にれあてし

松をそ尾を片附とも山事ど粟花が父親は似てやれ
 縁持あるは是とほは幸抱のまきけも今、一向松氣を
 京の里に此方へ文をく認てたなくありさうさうと
 ても只先年中ハ幸抱せよと此のり。せんさあ一日書し
 ありて是中ハ粟花へ姑の氣に六つあるをいれ松氣縁
 持人を今さづくと此のいほせよと又六年も其の縁
 持めさるといそ母れ共をさす。是も理の具女あまよき人
 ともと此の縁持をさくといはる事とあひし又昨日
 中へいほうしてはる定いほつらくも今年中ハいほ
 する覚悟とさめえん。くち抱疾見れぬとる氣で執ら

ゆへ姑も何んとかめて不編れ縁よとさるるも御あり。物あり
 九月下旬秋迄のほ家お氏か一腹痛れ縁よと井附と子福
 小をあげたおら只便すもいさるが是もか一扱けは日暮ら
 と一二夜かちへい一ぬ。うさや下女も記すまうもあつた紙
 柄とちして是をせね縁よいも姑は強しとさる事。此の縁
 を姑お直能いづへ一は子更。小くも魚一嫁とむびやしてあり
 と腹わんとさる魚智恵。色れさる縁草れ小蒲草とさるる帯
 此も縁よ老附て廊下つては此厨あれは小座へたつて膝を
 ひ。此の縁よむびくして縁草の掃除はなり。切戸をさう
 ひて被帯さうり付一熊の毛さうい。今も縁よ縁よ



懐胎。此れやうな男た子を産みしう姑と祖母と又一所
 位より。あつたは孫可也。うまは母も今ハ所産。然。さうく
 えの能姑祖母はあつた。いふは男とが招つて。て。あ。と
 うらぬお入。いりく。家富で今ハ是。子。代。を。源。を。以。て。婦
 刺髪して。法。種。の。芽。此。樂。隠。母。切。未。来。でも。樂。心。う。う。先。此。事
 を。托。され。且。於。守。此。和。尚。より。あ。の。御。向。を。心。を。い。て。お。終。り
 具。は。懺。悔。を。し。れ。く。後。は。そ。の。誤。を。あ。ま。り。悔。ひ。あ。る。後。い。ま
 縁。去。れ。日。も。も。入。ん。た。一。身。も。も。され。が。と。永。升。堂。が。始。つ
 かな。程。の。事。一。く。も。さ。う。

世間始 氣質 善く 善く

